

2012年5月30日プレスリリース

山口情報芸術センター [YCAM] 10周年記念祭イベント

ワークショップ

「walking around surround—山口の音に耳を傾ける」

2012年7月31日(火) ※対象を市内の小学生に限定して開催予定

コンサート

「2050年を想像する音楽—ドビュッシーとケージからの発想」

2012年8月1日(水) 19:00開演(18:00開場)

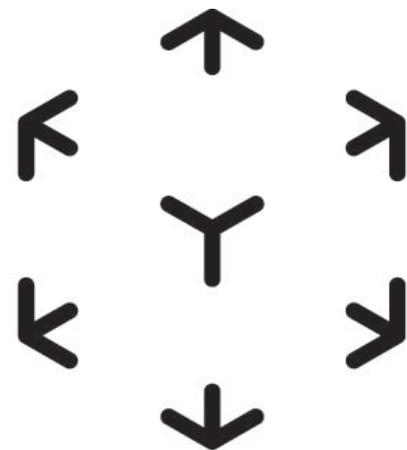
山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA ※インターネット中継予定(USTREAM)

山口情報芸術センターの開館10周年に向けたイベントが始動
坂本龍一氏によるワークショップとコンサートを開催

山口情報芸術センター [YCAM] では、2013年度に開催する「アートと環境の未来・山口 YCAM10周年記念祭」に先駆けて、総合アーティスティック・ディレクターの坂本龍一氏とともに、ワークショップ「walking around surround (ウォーキング・アラウンド・サラウンド)—山口の音に耳を傾ける」と、コンサート「2050年を想像する音楽—ドビュッシーとケージからの発想」を開催いたします。

前者は〈音を聴く〉という行為にスポットを当てたYCAMオリジナルワークショップ「walking around surround」を坂本氏とYCAMがコラボレーションしながらリメイクを予定しているもので、山口の未来を担う市内の小学生を対象に実施します。また後者では、20世紀の音楽に多大な影響を与えた巨匠、クロード・ドビュッシーとジョン・ケージのそれぞれ生誕150周年と100周年を記念し、坂本氏を中心とした音楽家が即興を含めて2人の巨匠の楽曲を演奏します。

これらのイベントは、いずれもYCAM10周年記念祭が掲げる「アートと環境の未来」をまずは〈聴こえるもの〉として提示するもので、絶え間なく流動するこの世界を注意深く感じ取る感受性や想像力を再発見し、拡張する実験的な試みとなります。

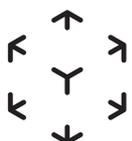


「アートと環境の未来・山口
Y C A M 10 周 年 記 念 祭」

10周年事業ロゴ(デザイン: 柿木原政広)



坂本龍一氏(撮影: 田邊アツシ)



「アートと環境の未来・山口
Y C A M 10 周 年 記 念 祭」

お問合せ 山口情報芸術センター[YCAM] 広報担当: 田中
住所: 〒753-0075 山口県山口市中国町7-7
TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216
e-mail: miyuki@ycam.jp
プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

コンサート「2050年を想像する音楽—ドビュッシーとケージからの発想」

20世紀の音楽に多大な影響を与えた、2大巨匠の楽曲を即興を含めたアンサンブルで展開

本コンサートでは、20世紀の音楽史に多大な影響と変革をもたらしたクロード・ドビュッシー（仏／生誕150年）とジョン・ケージ（米／生誕100年）の楽曲の中から、「環境とアートの未来・山口 YCAM10周年記念祭」のテーマである「庭」の主題を巡った音楽作品を取り上げ、坂本龍一氏を始めとする演奏家たちが、彼らの音楽に対する現在からの応答、さらには未来へのメッセージとして、さまざまなアプローチで即興演奏をおこなっていきます。

私たちの文明が20世紀型からの脱却を図ろうとしている今、環境とどのように向き合い、未来のために何を創造していくべきか—。コンサートを通じて、環境に対する長期的な観点からの新たな認識、そしてそこから発想される新たな表現を発信します。

クロード・ドビュッシー「前奏曲」

音楽における色彩を一新させ、全音階の多用など、過去の音楽にとらわれない大胆な音楽理論を採用して印象主義音楽を開拓したフランスの音楽家、クロード・ドビュッシー（1862年～1918年）。今回は、ドビュッシーが手がけたピアノ曲の中でも最高峰と評価の高い「前奏曲」から、「庭と水」にまつわる楽曲を数点選び、ピアノ演奏に対し、坂本龍一氏らのアンサンブルが即興演奏をおこないます。

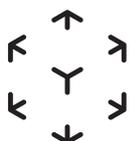
ジョン・ケージ「Ryoanji」

「偶然性」と「聴取」の音楽によって、伝統的な西洋音楽に決定的な衝撃を与えると共に、それ以降の様々な分野の芸術家に今もなお多大な影響を与え続けるアメリカの作曲家、ジョン・ケージ（1912年～1992年）。ケージは日本の仏教学者、鈴木大拙による禅の思想に大きな影響を受けており、京都の龍安寺に訪れた際に受けたインスピレーションをもとに1つの楽曲を制作しています。それが、独特な図形楽譜でも知られる「Ryoanji」です。今回のコンサートでは、この楽曲を中心に他のケージの作品も含め、坂本龍一氏らのアンサンブルが演奏をおこないます。なお、坂本氏による「Ryoanji」の演奏はこれが世界初となります。

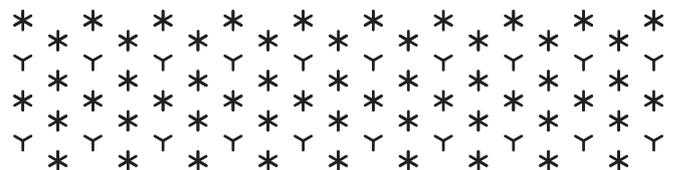


ダイアログ&コンサート「2050年から見る環境と芸術の未来」
(2011年、YCAM) 撮影：田邊アツシ

坂本龍一（さかもと・りゅういち）
音楽家。52年生まれ。米国ニューヨーク州在住。
78年『千のナイフ』でデビュー、同年YMOに参加。
YMO散開後、数々の映画音楽を手がけ、作曲家としてアカデミー賞を受賞するなど世界的な評価を得つつ、常に革新的なサウンドを追求している。
99年制作のオペラ『LIFE』以降、環境・平和・社会問題に言及することも多く、9・11同時多発テロをきっかけに、論考集『非戦』を監修。07年には「more trees」を設立し、温暖化防止についての啓蒙や植樹活動を行うなど活動は多岐に渡る。09年には国連環境計画が実施するECHO Festivalにおいて「Echo Award」を受賞。同年、フランス共和国より芸術文化勲章オフィシエ受勲、10年文化庁芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2011年東日本大震災復興支援プロジェクトとして「LIFE311 by more trees」「こどもの音楽再生基金」「www.kizuna.org」など、さまざまな活動を行っている。



「アートと環境の未来・山口
YCAM 10周年記念祭」

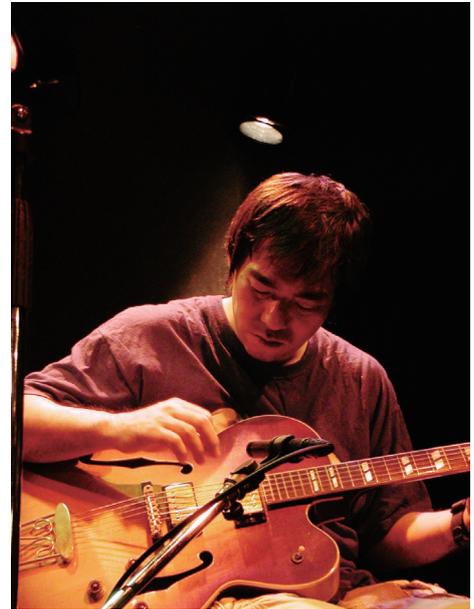


コンサート出演者プロフィール

大友良英 (おおとも・よしひで)

1959年横浜生まれ。十代を福島市で過ごす。常に同時進行かつインディペンデントに多種多様な作品をつくり続け、その活動範囲は世界中におよぶ。ノイズやフィードバックを多用した大音量の作品から、音響の発生そのものに焦点をあてた作品に至るまでその幅は広く、ジャズやポップス、歌をテーマにした作品も多い。映画音楽家としても数多くの映像作品の音楽を手がけ、その数は60作品を超える。2008年、YCAMでの『アンサンブルズ』展を切っ掛けに、「アンサンブルズ」の名のもとさまざまな人たちとのコラボレーションを軸に展示する音楽作品や特殊形態のコンサートを手がけると同時に、障害のある子どもたちとの音楽ワークショップや一般参加型のプロジェクトにも力をいれている。現在は原発事故の放射線による被害を受けつづける福島と東京を行き来し、「プロジェクト FUKUSHIMA !」を立ち上げ奔走中。

著書に『MUSICS』（岩波書店）、『大友良英のJAMJAM日記』（河出書房）、『ENSEMBLES』（月曜社）『クロニクルFUKUSHIMA』（青土社）などがある。



開催概要

「アートと環境の未来・山口 YCAM10周年記念祭」イベント

コンサート「2050年を想像する音楽—ドビュッシーとケージからの発想」

出演：坂本龍一、大友良英 ほか

2012年8月1日(水) 19:00開演(18:00開場)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

※インターネット中継予定 (USTREAM)

チケット情報

チケット発売日：any会員先行予約 6月17日(日)

一般発売 6月24日(日)

料金：

前売 一般 3,500円 / any会員・特別割引 3,000円 / 25歳以下 2,500円

当日 4,000円

電話/窓口：

山口市文化振興財団チケットインフォメーション (YCAM内)

083-920-6111 (10:00～19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

インターネット：<http://www.ycfcp.or.jp> (24時間受付・要事前登録)

主催：公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

協力：Kab America Inc.、Kab Inc.

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

■特別割引：シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象

■未就学児入場不可

■託児サービス

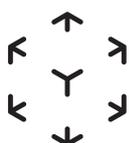
対象：0才(6ヶ月)以上

託児時間：開演の30分前から終演30分後まで

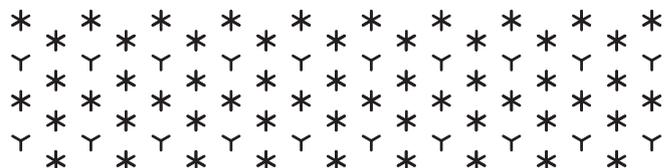
料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：7月25日(水)までにチケットインフォメーションまでお申し込みください。

■車椅子席・補聴システム：事前にお問い合わせください。



「アートと環境の未来・山口
YCAM 10周年記念祭」



ワークショップ「walking around surround—山口の音に耳を傾ける」

2012年7月31日(火) 大殿地区で開催を予定 講師：坂本龍一、YCAM教育普及スタッフ

音を聴き、音で空間を創造するためのワークショップ

「walking around surround」は、人々が当たり前のように接している〈音を聴く〉ということを改めて捉え直すことで日常的には深く考えることのない人間の聴覚の特徴を再発見し、音楽制作における「空間」の重要性を学ぶとともに「音による創造性」を切り拓くものとして、YCAMが独自に開発／実施しているワークショップです。

現在、2013年度のYCAM10周年記念祭に向けて、YCAMと坂本氏が共同でこのワークショップのコンセプトを発展させたりメイク版の開発をおこなっており、今回、そのプロトタイプ版を市内の小学生を対象に開催します。

今回実施する「walking around surround—山口の音に耳を傾ける」では、山口市内の海、森、街の各地域に暮らす小学生が、それぞれの土地でフィールドレコーディングをおこない、そこで採集した音を、YCAMが独自に開発した持ち運び可能なスピーカーを用いて、坂本龍一氏とともに空間的に構成していきます。その中で、普段意識することのない〈音を聴く〉という行為のメカニズムを学び、聴覚を研ぎ澄ませながら、風光明媚な自然環境を保つ山口の豊かなサウンドスケープを再構築していきます。

※参加者は事前に集められた地域の小学生のみとなります。

※見学は、保護者、学校関係者のみとなります。



これまでに行われた「walking around surround」の様子

その他のイベント

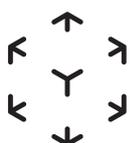
出張ワークショップ

YCAMでは、開館以降、情報社会への関心やリテラシーの普及・拡大を目指し、「メディア」「社会」「身体」をキーワードにオリジナルワークショップを開発し実施しています。また、公共文化施設として、展覧会や施設の見学ツアー、そして「メディアと身体」「コミュニケーションと社会」といったテーマを総合的に学べるワークショップを学校などで実施する出張ワークショップにも積極的に取り組んでいます。

10周年記念祭を見据え、YCAMの活動を施設を超えてこれまで以上にまちや地域へと広げていくことを目的に、イベントとして出張ワークショップをおこないます。山口市内、特にYCAMを訪れる機会の少ない山口市中心部から離れた地域の小学校においてYCAMオリジナルワークショップを実施することで、私たちの生活を取り巻く情報環境について学ぶための機会を積極的に創出するとともに、YCAMの活動をより多くの市民の皆様にお伝えしていきたいと考えています。



これまでに行われた出張ワークショップの様子



「アートと環境の未来・山口」
YCAM 10周年記念祭

